

平成 29 年度第 1 回天理市地域公共交通活性化協議会議事録

平成 29 年 6 月 26 日 (月)
午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分
天理市庁舎 4 階 特別会議室

【開会】午後 2 時 00 分	
司会	<p>これより平成 29 年度第 1 回天理市地域公共交通活性化協議会を開催させていただきます。委員の皆様方におかれましては、大変お忙しいところ、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。本日進行を務めさせていただきます、事務局の上田でございます。宜しく願いいたします。始めに、並河市長がご挨拶を申し上げます。</p>
会長 (市長)	<p>こんにちは。本日は平成 29 年度第 1 回天理市地域公共交通活性化協議会ということで、委員の皆様方にはご多忙のところご参集いただき、誠にありがとうございます。本日は議題として、平成 30 年度的生活交通ネットワーク計画案、そして、平成 28 年度の決算、コミュニティバスの川西町への延伸・結節案でございますが、昨今「地方創生」の中でも地域公共交通のニーズが高まっていく一方であり、よく 65 歳以上の方の人口比が挙げられますけれども、24%台、ほぼ 4 人に 1 人という割合でございますが、75 歳以上の方が 13%台でございます、8 人に 1 人という割合の現状でございます。勿論、お元気な方が多いわけですが、やはりこれから車に乗れなくなった場合、あるいはご家族にらせていただけなくなった場合に、通院や買い物といった日常生活の部分を、どのようにしていったらいいだろうということを特に JR 様・近鉄様の沿線以外の方々からよく聞くところでございます、市内の道路アクセスの整備等も行っているところでございますけれども、よりきめ細かい対応が今後必要になってくる、それも、5 年、10 年後には、相当の体制を整えないと、暮らしがなりたなくなる地域が天理市内でもでてきてしまうのではないかと、この様な問題意識を持っております。今回の議題からいたしますと、大きな点としては、川西町との結節、樫原線の方に出ていくことが出来るということでございます。今後中長期的にはそういったことも大きな課題かと考えております。慎重審議の程、宜しく願い申し上げます。</p>
司会	<p>ありがとうございました。なお、年度替わりの人事異動に伴いまして、委員の変更がございました。恐れ入りますが、委嘱状につきましては、お時間の関係から予めテーブルの上に置かせていただいております。ご確認をお願いいたします。それでは、配布資料のご確認をいたします。</p> <p>表紙の「次第」に続きまして、</p> <p>資料 1 平成 30 年度生活交通ネットワーク計画 (案) について</p> <p>資料 2 平成 28 年度天理市地域公共交通活性化協議会決算報告書</p> <p>資料 天理市コミュニティバスの延伸及び川西町との結節 (案)</p> <p>資料番号は付していませんが、本日の「座席表」を配布させていただいております。また、コミュニティバス「いちよう号」2 種類を配布させていただいております。</p>

	資料に不足はございませんでしょうか。それでは、これより議事に移らせていただきます。本協議会規約第9条第1項の規定によりまして、会長が議長の任にあたることとなっております。それでは会長、議事の進行をお願いします。
会長（市長）	<p>それでは、僭越でございますが、議事を進めさせていただきます。議事進行にご協力お願いいたします。</p> <p>まず、規約第9条第2項の規定によりまして、本日委員の過半数のご出席があり、会議が成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>それでは、議事に入ります。議題（1）といたしまして、平成30年度生活交通ネットワーク計画（案）について、事務局から説明願います。</p>
事務局	議題（1）について説明
会長（市長）	ただいま説明がございました平成30年度生活交通ネットワーク計画（案）について、皆さまから何かご質問はございますか。特段無いようでしたら、こちらの予算案をご承認いただくということで、ご異議ございませんか。
近畿運輸局奈良運輸支局	<p>近畿運輸局奈良運輸支局です。宜しくお願いたします。先ほど事務局の方から、国庫補助の説明がありましたが、内容について若干補足と確認をさせていただきます。まず補助の仕組みですけれども、地域公共交通確保維持改善計画というのは、元々は幹線バスと言われている、二市町村以上に跨っているような、木で言うと幹になっているような大きなバス路線がありまして、そちらに接続するような地域内のフィーダーと、両立ができるような形の補助事業となっております。天理市においては、フィーダーとなる地域の交通に関して、このネットワーク計画で策定していただいております。今までは予測された赤字額に対する補助額であったのが、今年度以降については、実際に走った後の赤字額の実績払いに代わっているため、市の方に単費で用意していただく額が見積りにくくなっているということになります。</p> <p>さらに、上限額が前年度と大きく違っておりまして、表5をご覧くださいなのですが、国庫補助の上限額は定められていて、1人あたり150円の単価で、基礎額として240万円の補助の限度額があります。これは赤字額の2分の1と国庫補助の上限額を比べて安価な方でしか補助ができないという制度となっており、基礎額の240万円というのは、単に補助金を活用しようとしたら50万とかなり低い額なのですが、奈良県においては県と各市町村の首長様とともにつくった交通網形成計画がありますので、基礎額がかなり大きくはなっているものの、前年度は300万円だったものが240万円に抑えられているということを現状としてご理解いただければと思います。</p> <p>最後に、大きく変わっているところとして、今までは定時定路線のバスを走らせたときの補助の対象というのは、一回あたりと一往復をして1人を乗せていれば要件を満たすという判断でしたが、今年度からは、一回一往復あたり2人乗っていただかないと、補助の対象となりません。そこで、事務局の方に確認しておきたいのですが、定時定路線型は、表1で奈良交通さんに運行していただく1・2・3系統があります。これらのうち一回あたり2人に満たない場合があるかを確認させていただきます。</p>

事務局	<p>残念ながら、苜原系統線については、一回1往復あたり2人というのはなかなか厳しい状態でごさいます、1人は確保できていますが、2人となると現状では下回ってしまう恐れがあります。</p> <p>乗客が少ない日曜日の分を省いて申請するという案もありましたが、国の方に確認していただいたところ、運行している日を省いて申請することは出来ず、乗客を増やしていくことしか方法がないとのこと。補助申請を一旦取りやめてしまいますと、次から補助をいただくのが非常に難しくなるということですので、今回も通常の形で補助をあげさせていただき、あとはどれだけ乗っていただけるかということしかないと考えております。</p>
会長（市長）	<p>広報発信に相当力を入れていきましょう。別途相談をさせていただきたいと思えます。</p>
近畿運輸局奈良運輸支局	<p>申し上げたいのは、日曜日のご利用が少ないという現状があるため、一回一往復あたり2人という要件を満たすのに足を引っ張ってしまう曜日を無くしてしまっているのか、バスが無くなって困る方がいらっしゃるようであれば、是非バスに乗って、要件を満たし、国庫補助も貰いながら、路線を残せるような状況で、地域の方にもご理解いただく必要があると思えます。</p>
会長（市長）	<p>そういった現状を地元には伝えられていないですね。</p>
事務局	<p>国の方で実際に運行している日を省いて申請することは出来ないという回答を得たのが最近ですので、まだ地元への情報共有はできていない状態です。</p>
会長（市長）	<p>利用促進をしっかりと広報していかないと、結局市の負担が増える一方ということですね。どのくらいでしょうか。</p>
事務局	<p>先程専門官がおっしゃられていましたとおり、実績による精算払いという形でしたので、赤字が最終どのくらいの額になるか、また、現在補助の上限額はかなり超えておりますので、西部線単独でも按分して補助をいただけるのであれば、上限額までいただけるかと思えます。ただ、そのような方法ではなくて、国が計画の按分で計算されるのであれば、上限額まではいただけないと、そういったところが未だ確認できておりません。</p>
会長（市長）	<p>そちらはまた調整するということでよろしいですか。</p>
近畿運輸局奈良運輸支局	<p>そうです。取扱いについて、交付申請までに確認をさせていただきます。</p>
会長（市長）	<p>わかりました。宜しくお願ひ致します。今の点も含めまして、何か皆様方からご質問ご意見等ございますか。</p>
委員	<p>二番目の「目標・効果」の記載についてですが、川西町への延伸は記載されていますが、今回、後の議案で出てきますけれども、苜原線のバス停の登録を新たにされていることも、プラスの内容ですので、是非こちらにも記載を追加していただいた方が良いかと思えます。</p>

会長（市長）	<p>下仁興町のバス停設置のことをおっしゃっているという解釈でよろしいですか。ご意見を踏まえて記載させていただきたいと存じます。他に、ご質問・ご意見等はございますか。宜しければ、修正点はございましたが、ご承認いただくということよろしいですか。</p> <p>【異議なしの声】</p> <p>ありがとうございます。続きまして、議題2に入ります。平成28年度天理市地域公共交通活性化協議会決算報告について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	平成28年度天理市地域公共交通活性化協議会決算について説明
会長（市長）	続きまして監事からの監査報告でございますが、本日奈良土木事務所の所長様の代理吉田様にお越しいただいております。宜しくお願い致します。
奈良土木事務所	<p>それでは、監査報告をさせていただきます。天理市地域公共交通活性化協議会の平成28年度の会計全般にわたる経理状況を関係帳簿及び証拠書類等について照合のうえ、監査したところ、決算書の記載方法について一部ご検討いただきたい旨を奈良土木事務所よりお願いしております。あくまで記載方法に係るものでございます。経理状況については、決算書のとおり相違ないことを確認しましたので、ここに報告致します。平成29年6月23日天理市地域公共交通活性化協議会監事奈良土木事務所木村、監事天理警察署長山崎友宏。代理吉田が報告させていただきます。</p>
会長（市長）	決算並びに監査報告があったところでございますが、何か皆様方からご質問ご意見等ございますか。
奈良県県土マネジメント部	平成27年度の補助金628万4千円の内数として、平成28年度デマンド305万6千円がこの中に入っていたということですが、確認ですが、平成27年度の歳入の628万4千円の補助金というのは、国の補助金ですか。補助金を協議会の方で受けられて、そちらについて、二年度分が歳入として入っていたということですか。
会長（市長）	もう一度どこに数字が重なっていたかということを、具体的に説明していただけますか。
事務局	<p>資料3枚目の平成27年度天理市地域公共交通活性化協議会決算書の2款の、補助金628万4,000円、こちらに本来は平成28年度で精算すべき350万6,000円が入っていたということございまして、これを本来はこの金額で近鉄タクシー様のお支払を精算していくのですが、平成28年度決算を作成する段階で精査したところ、記載方法に誤りがあったと判明いたしましたので、ご報告させていただきました。本来は、平成27年度の繰越金から350万6,000円を引かせていただいて、代わりに、平成28年度決算の歳出決算額内訳のデマンドタクシー運行委託料1301万4,190円から補助金として350万6,000円を差し引いたもので決算をするところですが、二年度分の経費の差引としては、同額という形でございます。監査委員様よりご報告いただいたように、経理全般の金額としては変わらないわけではございますが、記載の仕方というか、年度が違っておりますので、ご報告させていただいた次第です。</p>

奈良県県土マネジメント部	協議会の会計としての処理はわかりましたが、運輸支局の方に確認した方が早いかと思いますが、適化法上、補助金の会計処理として、こういった会計の記載は問題では。
近畿運輸局奈良運輸支局	そうですね、協議会に対してではなく、事業主に補助金を交付しているわけなので。
事務局	本来はおっしゃるように、事業主の方へ入る形ですが、デマンドタクシーのお支払なので、それを精算して本来協議会の方からお支払するという形ですので、便宜上の関係で、そのような会計処理、会計の記載を従来しておりました。
会長（市長）	補助金の流れとしては、会計検査等含めてそれで問題ないというご理解でよろしいでしょうか。
奈良県県土マネジメント部	歳入歳出年度一致の法則に外れるので、私も県の者なので、そちらは国の方に確認を取っていただかないと、非常に心配な所です。
近畿運輸局奈良運輸支局	補助金は事業主にお支払しているものなので、事業主にお支払する事業費というのは、総経費から運賃収入を引いて、国庫補助を貰ったもの以外を事業費として協議会から支払ったという形の記載にするべきではないかと思います。次に決算するとき、そのようにしていただきたらと思います。
事務局	奈良土木事務所様の方から、決算案について監査していただいた上で、今後どのようにしていくかということをお重々考えるようにというご指摘も出ておりますので、次年度分についてはそのようにさせていただきたいと思っております。
近畿運輸局奈良運輸支局	協議会の財布に入っていないのに、入ったような記載になってしまっていると思います。
会長（市長）	次年度の対応で良いのでしょうか。
近畿運輸局奈良運輸支局	確認をしたうえで、修正が必要であればまた事務局のほうにお願いすることいたします。
会長（市長）	では、一旦この点を確認して、問題が無いということでしたら、条件付きで承認をいただきましょうか。しかしながら、昨年度の決算は閉じていますので、今から変更するわけにはいかないですね。副会長、いかがですか。
副会長	事務局で話をしている中で、平成27年度の決算をやり変えるという話もありましたが、一旦協議会の中で、決算報告として承認をいただいているので、明確に記載する方法で、対応したらどうかということで、こういった形になりました。ご指摘のように、平成29年度予算については、今回認定いただく分なので、記載の仕方は当然きっちりした形であるべきと思っております。
会長（市長）	記載の仕方の関係でという理解でよろしいですか。国庫補助の関係で不適切だから戻さないといけないとか、支出行為自体に問題があるということではないですよ。

事務局	決算額の内訳で、運行経費があり、運賃収入があり、毎回差引きして協議会がお支払している形ですので、金額は変わらないです。
会長（市長）	<p>監査からのご意見というのも、記載方法をしっかり行ってくださいということだったということですね。念のため確認をするということで、協議会を再度それだけのために改めて開くということでもないかと思っておりますので、特段問題が無ければご承認をいただいたということで、若干記載が必要な部分が出てきましたら、書面で対応させていただくということでよろしいでしょうか。お手数をおかけ致しますが、宜しくお願い致します。</p> <p>そうしましたら議題3でございますが、コミュニティバスの延伸及び川西町との結節案について事務局から説明をお願い致します。</p>
事務局	議題3 コミュニティバスの延伸及び川西町との結節案について説明
会長（市長）	<p>ただいま説明がございましたコミュニティバスの延伸及び川西町との結節案について、皆様方から何かご質問ございますか。特に無いようでしたら、こちらの予算案をご承認いただくということで、ご異議ございませんか。</p> <p>〈異議なし〉の声</p> <p>ありがとうございます。議題3につきましては、こちらで承認とすることと致します。それでは、以上で本日の議題は終了とさせていただきます。何か、せっかくの機会ですので、本日の議題以外でも、ご質問等ございましたら伺いたいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>補足になりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>先程の予算のところ、もう一枚だけ、平成29年度予算の部分なのですが、この中の歳出の箇所、「コミュニティバス減価償却費」というものがございまして、こちらについて一部の委員様より書き方がわかりにくいとのご指摘がありました。これは実際には奈良交通様の方で、バスを購入していただいております、そのバスを天理市のコミュニティバスとして確保していただいております、その確保費と言いますか、実際には運行委託料の中に含めて差し支えないものという形でございまして、そのような意味合いで書かせていただいております。</p>
会長（市長）	元々この予算につき承認していただいていたわけですが、記載の仕方についての追加の説明ということですね。
事務局	はい、わかりにくいというご意見がございましたので、追加でご説明させていただきました。
会長（市長）	何か今の点でも他の点でも結構ですので、ご質問等ございましたら伺いたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

<p>奈良県県土マネジメント部</p>	<p>よろしいでしょうか。奈良県でございます。</p> <p>本日協議会の決算等の説明がありまして、帳簿上の改善点等が何ヶ所かあったところなのですが、ご存じかとは思いますが、県庁の方でも協議会方式や実行委員会形式で実施されている事業に関して、議会の方でも執行の方法や事業の進め方について、結構厳しい指摘が出ているような状況です。こちらの協議会に関しましても、1000万円単位といった規模の事業をされていますので、会計の方も、我々協議会の委員の方の責任と言いますか、そのようなことになってきますので、より適正さをしっかりと確保していくべきかと思えます。</p> <p>もう一点、これは会計とは全く別のお話にはなるのですが、昨年度こちらの協議会におかれましては、県が行っております「安心して暮らせる地域公共確保事業」という補助事業、執行率が非常に低迷しているものなのですが、その中で手を挙げていただいて事業を執行していただいたことに関しまして、この場をお借りしまして、感謝申し上げます。ただ、補助を行う側として、もう少し検討調査について、一緒に取り組ませていただいたら良かったなという反省の部分もあります。総合連携計画の中間評価と見直しの報告書の方を見せていただきまして、現状分析や振り返り等の取組成果というか、そういった部分の分析・調査はしっかりされている報告でしたが、そういったエビデンスを積み重ねた上で、今後どうしていくのかというところが少し希薄だったように考えております。ただ、調査自体につきましては昨年度しっかり行っていただきましたので、今年度以降、検討調査事業という別の部分で、検討していただいたら良いと思えます。実証運行であったり、分析であったり、県の事業を上手に使っていただいておりますので、今後とも宜しくお願い致します。</p> <p>また、話を伺っておりますと、この先地域公共交通網形成計画策定の準備を少しずつされていくということですが、網形成計画となりますと、今の流れでは交通網だけではなく、街づくり政策との連携も非常に重要となってきますので、また一緒に取り組んでいく事が出来たらと思えます。以上です。</p>
<p>会長（市長）</p>	<p>貴重なご指摘、ありがとうございます。その他、何かご発言ございますか。</p>
<p>近畿運輸局奈良運輸支局</p>	<p>先程私の方から、地域内フィーダーの補助金の関係で、枝葉になる地域の交通と、基になる幹の交通があるというお話をさせていただきましたが、幹の交通、国庫補助金の活用いただいている系統に接続しているフィーダー地域内交通について、補助させていただいています。そのため、先程お示しさせていただいた表1の、どこと接続していますかというのがありまして、天理都祁線・天理桜井線とありますが、これも奈良交通さんが二市町村以上跨っているバスになります。この交通がなくなってしまうたり、補助の対象から外れてしまったりしますと、必然的に、地域内フィーダーの分も外れてしまうということになります。この地域の幹線バスも、かなりご利用が少なくなっています。天理市だけではなく、二市町村以上跨っている交通も維持していかないと、地域内のフィーダー補助もなくなってしまうということもあります。天理桜井線は現在かなり厳しい状況となっていますので、是非ご利用をお願いしたいと思うところです。</p>

	<p>また、県の協議会の方でも、こちらが懸案となっていて、かなり厳しい状況の中で、改善策等を事業者の方も含め知恵を絞っているところですが、今まで利用していたけれども利用しなくなった人を呼び戻すというのはなかなか難しいことです。萱原線を利用しただけか残らないということも含め、天理桜井線・天理都祁線の維持も、引き続きお願いしたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。</p>
奈良県県土マネジメント部	<p>近畿運輸局の方から説明がありましたように、天理桜井線については、非常に利用率が伸び悩んでいて、なんとか固定の利用者を取り込もうということで、所謂モビリティ・マネジメント（MM）を、県で試験的にさせていただいています。どういった内容かと言いますと、企業 MM、学校 MM などある中で、天理桜井線の沿線に張り付いてあります企業に県が出向きまして、社員に使っていただくということが最も定期の乗客を確保するのに効果的ですので、数企業をピックアップしてお願いしておりますが、残念ながら断られたり、協力していただけそうなところがあったり様々ですが、そういったことを試験的に進めているところです。従って、そういった対象企業を我々がどんどん見つけていきたいと思っておりますので、候補になりそうな対象企業や施設の情報提供をしていただきましたら、いくらでも出向いていきますので、また宜しくお願い致します。</p>
会長（市長）	<p>そのあたり一度、産業振興課も含め、企業の洗い出し等検討しましょう。総合政策課にはそのような情報はないので、産業振興課にも入ってもらいましょう。ありがとうございます。</p> <p>それでは、本日の協議会はこれにて終了させていただきます。お忙しい中、ご協力いただきまして、ありがとうございました。</p>
司会	<p>それでは以上をもちまして、平成 29 年度第 1 回地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。本日は長時間、誠にありがとうございました。</p>